

## 平成24年度 経営協議会学外委員からの意見に対する対応状況（案）

	経営協議会	学外委員からの意見	本学の対応状況
1	第 49 回経営協議会 (24. 12. 20 開催)	<p>昨今の社会情勢や人材育成の観点から、グローバル化の検討を進めていることと思われるが、これをさらに加速し、実行することが望ましい。例えば、留学生の受け入れに係る環境整備や受入れ枠の拡大等を検討していただきたい。</p> <p>また、大学で保有している教育研究・業務運営等のデータを有効活用し、経営戦略と情報の透明化を図るべきであると思われる。情報の可視化に力を入れ、具体的な方策を早期に検討することが望ましい。</p>	<p>教育研究評議会及び役員会において、「山梨大学におけるグローバル化に関する方針（グローバル化推進会議原案）」として、以下の各項目について推進していくことが決定された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国際社会で活躍する人材の育成</li> <li>② 海外の大学及び研究機関との交流</li> <li>③ 研究の国際的展開と成果の還元</li> <li>④ 海外からの留学生の受入れ</li> <li>⑤ 海外へ留学する学生に対する支援</li> <li>⑥ キャンパスのグローバル化</li> </ul> <p>この方針に基づき、まず、次の方策を実施することとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 海外留学を目指す学生の経済的負担の軽減を図るため、学生海外派遣支援金制度の活用を図る。</li> <li>(2) 多目的に利用できる国際交流スペースを設け、イングリッシュカフェ（仮称）を開設してキャンパスのグローバル化を図る。</li> </ul> <p>また、大学で保有している教育研究・業務運営等のデータを有効活用し、経営戦略と情報の透明化を図るため、山梨大 I R (Institutional Research) の構築について、検討を進めていくこととした。</p>